

【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別にみると、身体障害者手帳は「医療的ケア者の外出手段の確保に関する支援」、療育手帳は「ヘルパーの確保・育成」、精神障害者保健福祉手帳は「医療的ケア者の家庭への支援」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別にみると、いずれも「医療的ケア児の通所支援の整備（児童発達支援・放課後等デイサービス）」が最も多くなっています。

(単位：%)

	回答者数 (件)	ヘルパーの確保・ 育成	医療従事者の 確保・育成	医療的ケア者・児 の家族への支援	医療的ケア者・児 が利用できる短期 入所施設の整備	医療的ケア児の 教育に関する支援	医療的ケア者・児 の通所支援の整備	医療的ケア者・児 の外出手段の確保 に関する支援	その他	無回答
18歳 以上	全体	1106	27.0	24.7	25.7	20.3	18.0	26.2	4.2	33.5
	身体	754	25.6	21.9	22.0	18.0	14.7	26.9	3.8	36.5
	療育	211	33.6	27.5	29.9	29.4	26.1	22.3	4.3	30.3
	精神	189	25.4	31.2	35.4	20.6	22.2	27.0	5.8	22.2
18歳 未満	全体	472	33.3	30.1	47.2	35.2	29.2	49.6	4.4	14.4
	身体	134	33.6	32.8	55.2	50.0	32.8	56.0	6.0	9.0
	療育	355	34.4	29.9	47.9	34.9	27.9	50.1	3.7	14.6
	精神	38	28.9	34.2	47.4	21.1	34.2	55.3	5.3	13.2

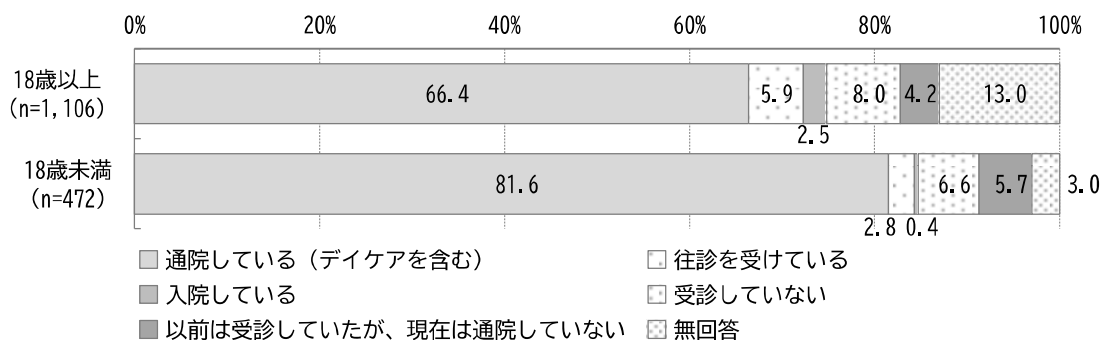
現在、定期的に医療機関を受診していますか。(○は1つ) 【18歳以上 問8/18歳未満 問7】

18歳以上

「通院している（デイケアを含む）」が66.4%と最も多く、次いで「受診していない」、「往診を受けている」、「以前は受診していたが、現在は通院していない」の順となっています。

18歳未満

「通院している（デイケアを含む）」が81.6%と最も多く、次いで「受診していない」、「以前は受診していたが、現在は通院していない」、「往診を受けている」の順となっています。



【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別にみると、いずれも「通院している（デイケアを含む）」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別にみると、いずれも「通院している（デイケアを含む）」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数 (件)	通院している (デイケアを含む)	往診を受けている	入院している	受診していない	以前は受診していたが、現在は通院していない	無回答
18歳以上	全体	1106	66.4	5.9	2.5	8.0	4.2	13.0
	身体	754	66.6	6.2	2.7	7.6	3.3	13.7
	療育	211	59.7	8.5	0.9	13.3	7.6	10.0
	精神	189	81.5	3.7	3.2	1.1	1.1	9.5
18歳未満	全体	472	81.6	2.8	0.4	6.6	5.7	3.0
	身体	134	88.1	3.7	0.7	2.2	3.0	2.2
	療育	355	80.0	3.4	0.3	7.6	6.2	2.5
	精神	38	89.5	-	-	2.6	7.9	-

【18歳以上：問8、18歳未満：問7で「1 通院している（デイケアを含む）」と回答した方にお聞きます。】

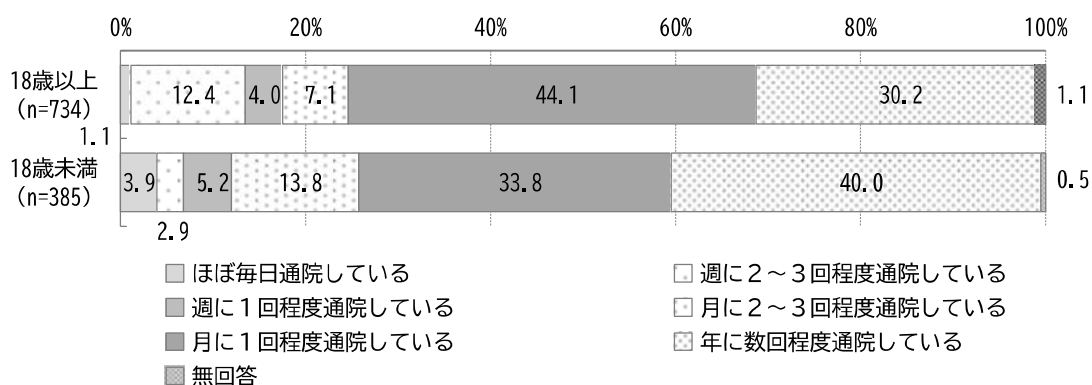
問9 どのぐらいの頻度で通院をしていますか。（○は1つ） 【18歳以上 問9／18歳未満 問8】

18歳以上

「月に1回程度通院している」が44.1%と最も多く、次いで「年に数回程度通院している」、「週に2～3回程度通院している」、「月に2～3回程度通院している」の順となっています。

18歳未満

「年に数回程度通院している」が40.0%と最も多く、次いで「月に1回程度通院している」、「月に2～3回程度通院している」、「週に1回程度通院している」の順となっています。



【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別にみると、いずれも「月に1回程度通院している」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別にみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳は「月に1回程度通院している」、療育手帳は「年に数回程度通院している」が最も多くなっています。

(単位：%)

	回答者数 (件)	ほぼ毎日通院している	週に2～3回程度通院している	週に1回程度通院している	月に2～3回程度通院している	月に1回程度通院している	年に数回程度通院している	無回答	
18歳以上	全体	734	1.1	12.4	4.0	7.1	44.1	30.2	1.1
	身体	502	1.2	16.9	4.6	6.2	37.1	32.9	1.2
	療育	126	1.6	5.6	4.8	7.9	41.3	38.1	0.8
	精神	154	-	6.5	3.9	9.1	63.6	15.6	1.3
18歳未満	全体	385	3.9	2.9	5.2	13.8	33.8	40.0	0.5
	身体	118	6.8	4.2	9.3	21.2	37.3	20.3	0.8
	療育	284	3.9	1.4	5.6	13.4	29.2	45.8	0.7
	精神	34	2.9	8.8	8.8	8.8	52.9	17.6	-

2 家族や介助者（援助者）について

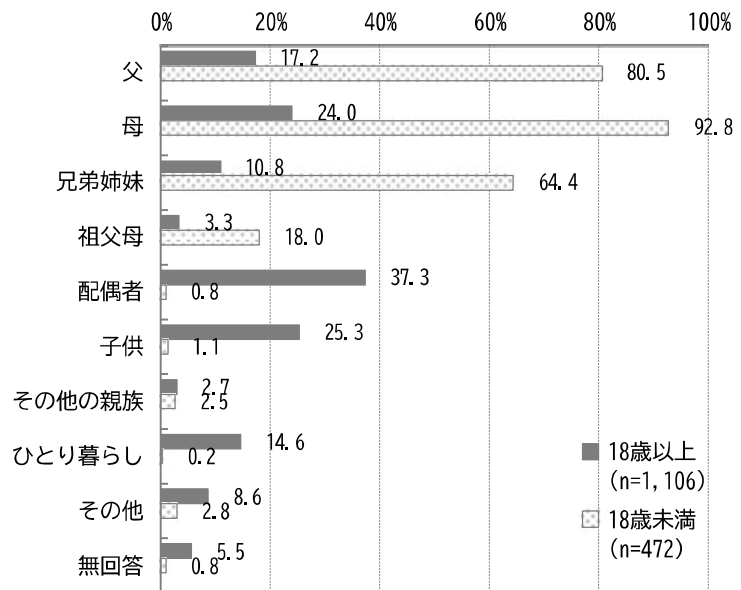
あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。（〇はいくつでも）【18歳以上 問10/18歳未満 問9】

18歳以上

「配偶者」が37.3%と最も多く、次いで「子供」、「母」、「父」の順となっています。

18歳未満

「母」が92.8%と最も多く、次いで「父」、「兄弟姉妹」、「祖父母」の順となっています。



【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別によると、身体障害者手帳は「配偶者」、療育手帳と精神障害者保健福祉手帳は「母」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別によると、いずれも「母」が最も多くなっています。

(単位：%)

	回答者数 (件)	父	母	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子供	その他の親族	ひとり暮らし	その他	無回答	
		全体	1106	17.2	24.0	10.8	3.3	37.3	25.3	2.7	14.6	8.6
18歳以上	身体	754	9.5	13.8	5.6	1.5	45.8	31.0	3.2	14.9	8.2	5.7
	療育	211	48.3	60.2	29.4	9.5	8.1	6.6	3.3	5.7	13.3	4.3
	精神	189	30.2	41.3	16.4	5.8	22.8	18.0	1.1	21.7	5.8	1.1
18歳未満	全体	472	80.5	92.8	64.4	18.0	0.8	1.1	2.5	0.2	2.8	0.8
	身体	134	86.6	94.8	68.7	17.2	-	-	0.7	0.7	1.5	0.7
	療育	355	79.7	93.5	62.3	17.7	0.8	1.1	3.1	-	3.4	0.6
	精神	38	68.4	100.0	81.6	13.2	-	-	5.3	-	-	-

あなたへの介助（援助）について、主な介助者（援助者）はどなたですか。（○は1つ）

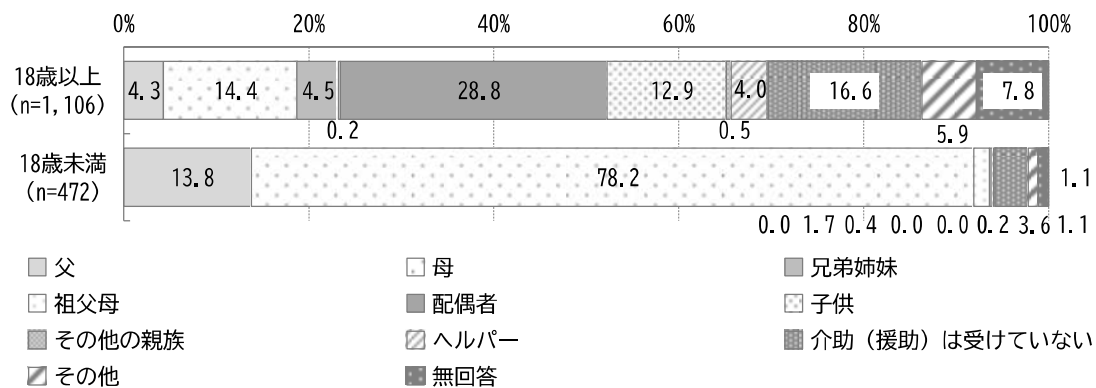
【18歳以上 問11/18歳未満 問10】

18歳以上

「配偶者」が28.8%と最も多く、次いで「母」、「子供」、「兄弟姉妹」の順となっており、「介助（援助）は受けていない」は16.6%となっています。

18歳未満

「母」が78.2%と最も多く、次いで「父」、「祖父母」、「配偶者」の順となっており、「介助（援助）は受けていない」は3.6%となっています。



【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別にみると、身体障害者手帳は「配偶者」、療育手帳は「母」、精神障害者保健福祉手帳は「介助（援助は受けていない）」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別にみると、いずれも「母」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数 (件)	父	母	兄弟姉妹	祖父母	配偶者	子供	その他の親族	ヘルパー	介助（援助）は 受けていない	その他	無回答
18歳以上	全体	1106	4.3	14.4	4.5	0.2	28.8	12.9	0.5	4.0	16.6	5.9	7.8
	身体	754	2.4	8.0	3.4	-	36.2	17.0	0.5	4.4	14.6	5.7	7.8
	療育	211	11.4	44.1	5.2	0.9	5.7	1.4	0.9	1.9	12.8	10.0	5.7
	精神	189	8.5	22.8	5.8	-	15.9	5.3	1.1	6.9	24.3	5.8	3.7
18歳未満	全体	472	13.8	78.2	-	1.7	0.4	-	-	0.2	3.6	1.1	1.1
	身体	134	14.2	78.4	-	3.0	-	-	-	-	1.5	1.5	1.5
	療育	355	13.8	79.2	-	1.4	0.3	-	-	0.3	3.4	1.1	0.6
	精神	38	13.2	86.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な介助者（援助者）の年齢を教えてください。（○は1つ）

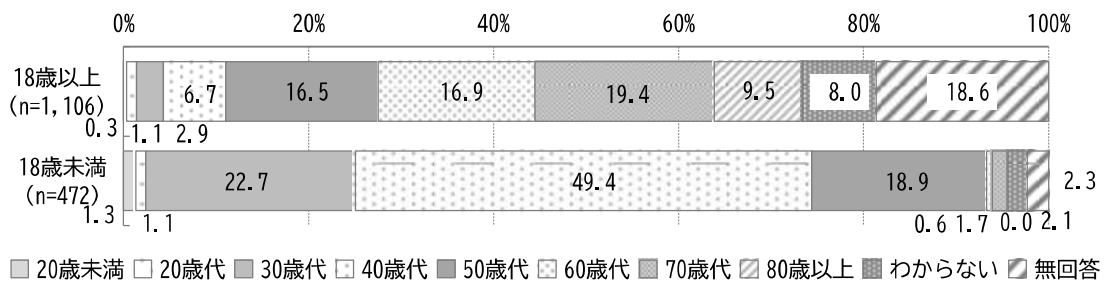
【18歳以上 問12/18歳未満 問11】

18歳以上

「70歳代」が19.4%と最も多く、次いで「60歳代」、「50歳代」、「80歳以上」の順となっています。

18歳未満

「40歳代」が49.4%と最も多く、次いで「30歳代」、「50歳代」、「わからない」の順となっています。



【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別にみると、身体障害者手帳は「70歳代」、療育手帳と精神障害者保健福祉手帳は「50歳代」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別にみると、いずれも「40歳代」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数 (件)	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わから ない	無回答
18歳 以上	全体	1106	0.3	1.1	2.9	6.7	16.5	16.9	19.4	9.5	8.0	18.6
	身体	754	-	1.2	2.4	6.0	15.1	17.6	21.6	11.3	6.5	18.3
	療育	211	0.5	-	1.4	4.7	24.2	21.3	15.6	8.5	10.9	12.8
	精神	189	1.1	2.1	6.3	12.2	15.9	10.6	15.3	7.9	10.1	18.5
18歳 未満	全体	472	1.3	1.1	22.7	49.4	18.9	0.6	1.7	-	2.1	2.3
	身体	134	-	0.7	23.1	50.0	17.9	2.2	3.0	-	1.5	1.5
	療育	355	1.7	0.8	20.8	49.9	21.4	0.3	1.4	-	2.0	1.7
	精神	38	-	-	15.8	68.4	15.8	-	-	-	-	-

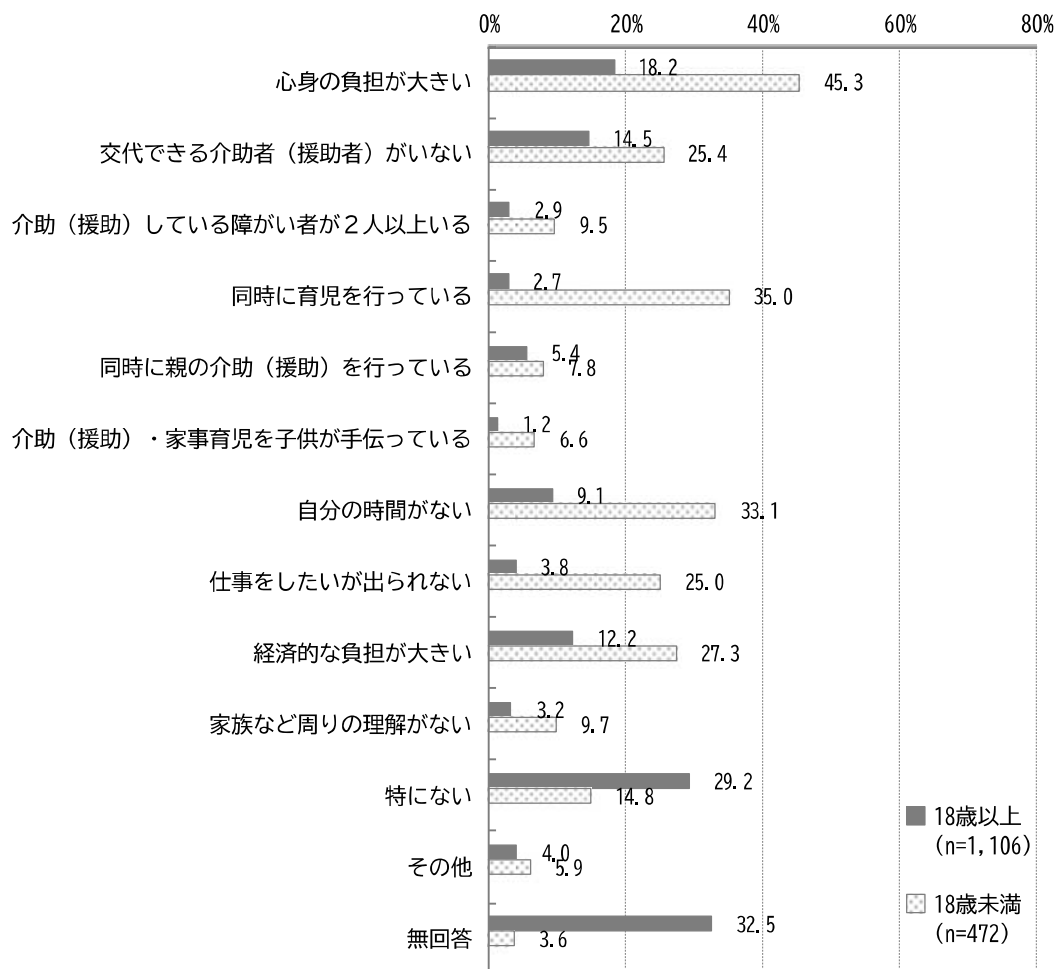
介助（援助）をしている方にお聞きします。介助（援助）する上で困っていることはありますか。（〇はいくつでも）
 【18歳以上 問13／18歳未満 問12】

18歳以上

「心身の負担が大きい」が18.2%と最も多く、次いで「交代できる介助者（援助者）がいない」、「経済的な負担が大きい」、「自分の時間がない」の順となっており、「特にない」は29.2%となっています。

18歳未満

「心身の負担が大きい」が45.3%と最も多く、次いで「同時に育児を行っている」、「自分の時間がない」、「経済的な負担が大きい」の順となっており、「特にない」は14.8%となっています。



【手帳種別】

18歳以上

困っていることを手帳の種別にみると、いずれも「心身の負担が大きい」が多くなっています。

18歳未満

困っていることを手帳の種別にみると、いずれも「心身の負担が大きい」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数 (件)	心身の負担が大きい	交代できる介助者 (援助者)がいない	介助(援助)している 障がい者が2人以上いる	同時に育児を行っている	同時に親の介助(援助) を行っている	介助(援助)・家事育児 を子供が手伝っている	自分の時間がない	仕事をしたいが 出られない	経済的な負担が大きい	家族など周りの理解が ない	特にない	その他	無回答
18歳 以上	全体	1106	18.2	14.5	2.9	2.7	5.4	1.2	9.1	3.8	12.2	3.2	29.2	4.0	32.5
	身体	754	17.2	15.1	2.4	2.1	4.6	0.9	8.6	3.6	11.5	2.7	31.3	4.0	31.7
	療育	211	27.5	17.5	3.8	2.8	9.5	0.9	12.3	8.5	12.8	5.7	26.1	4.7	24.2
	精神	189	21.2	11.6	4.2	5.3	5.3	1.6	9.5	3.7	18.0	7.4	25.4	3.7	32.3
18歳 未満	全体	472	45.3	25.4	9.5	35.0	7.8	6.6	33.1	25.0	27.3	9.7	14.8	5.9	3.6
	身体	134	54.5	35.8	5.2	44.8	6.0	11.2	35.8	32.8	29.1	4.5	9.0	6.0	2.2
	療育	355	45.4	25.1	9.9	31.8	8.5	7.0	31.8	25.1	26.2	10.1	16.3	5.6	3.1
	精神	38	52.6	23.7	21.1	39.5	18.4	10.5	36.8	23.7	42.1	21.1	7.9	10.5	2.6

介助（援助）をしている方にお聞きします。本人以外の家族で育児や介助（援助）に関する支援制度やサービスについて、現在利用しているものはありますか。（〇はいくつでも）

【18歳以上 問14／18歳未満 問13】

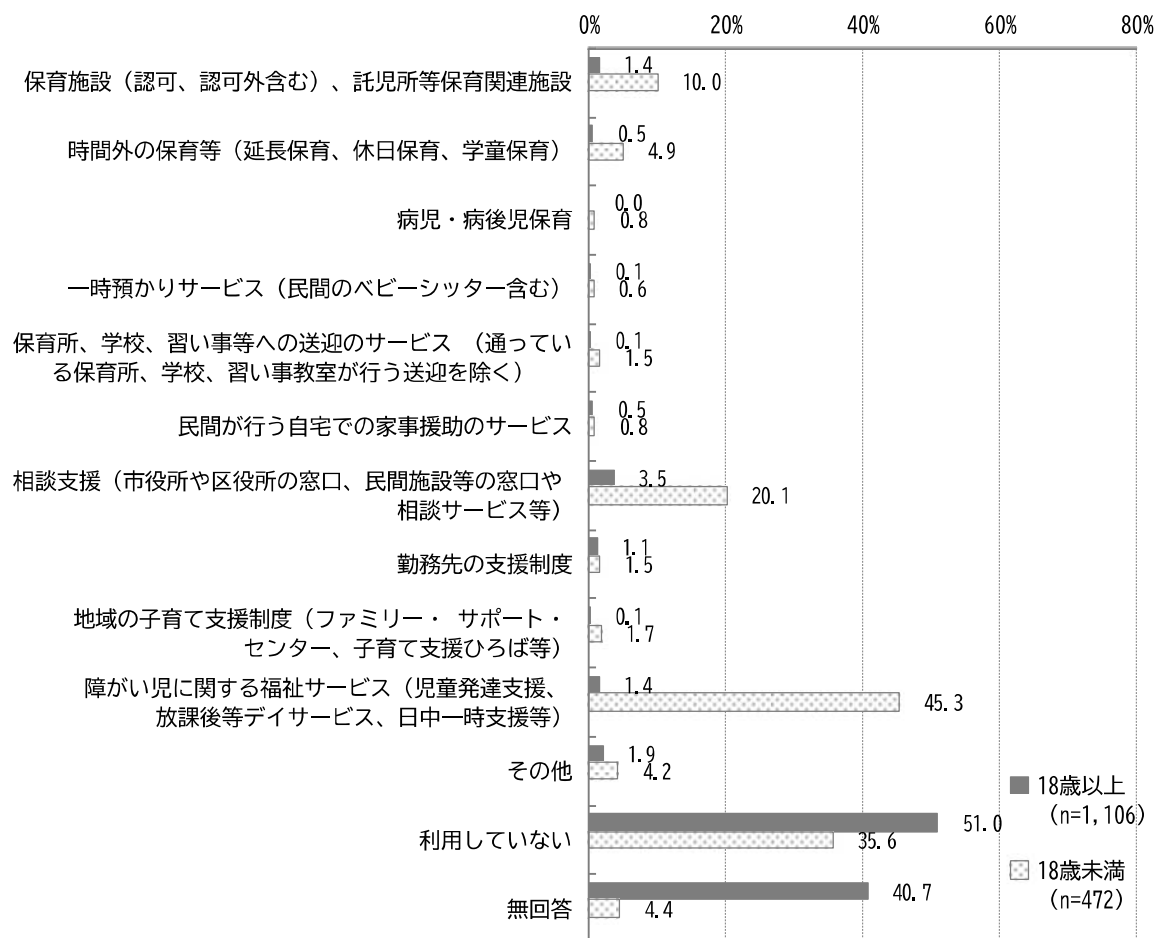
〔育児に関する支援〕

18歳以上

「相談支援（市役所や区役所の窓口、民間施設等の窓口や相談サービス等）」が3.5%と最も多く、次いで「保育施設（認可、認可外含む）、託児所等保育関連施設」、「障がい児に関する福祉サービス（児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援等）」の順となっており、「利用していない」は51.0%となっています。

18歳未満

「障がい児に関する福祉サービス（児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援等）」が45.3%と最も多く、次いで「相談支援（市役所や区役所の窓口、民間施設等の窓口や相談サービス等）」、「保育施設（認可、認可外含む）、託児所等保育関連施設」の順となっており、「利用していない」は35.6%となっています。



【手帳種別】

18歳以上

利用しているサービスを手帳の種別にみると、いずれも「相談支援（市役所や区役所の窓口、民間施設等の窓口や相談サービス等）」が多くなっています。

18歳未満

利用しているサービスを手帳の種別にみると、いずれも「障がい児に関する福祉サービス（児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援等）」が多くなっています。

(単位：%)

	回答者数(件)	相談支援(市役所や区役所の窓口、民間施設等の窓口や相談サービス等)	勤務先の支援制度	障がい児に関する福祉サービス(児童発達支援、放課後等デイサービス、日中一時支援等)	地域の子育て支援制度(ファミリー・サポート・センター、子育て支援ひろば等)	その他	利用していない	無回答							
18歳以上	全体	1106	1.4	0.5	-	0.1	0.1	0.5	3.5	1.1	0.1	1.4	1.9	51.0	40.7
	身体	754	0.7	0.3	-	0.1	-	0.4	2.3	0.7	-	0.9	1.6	52.8	41.0
	療育	211	0.5	0.5	-	-	0.5	0.5	10.4	3.3	-	2.8	1.4	53.1	31.8
	精神	189	4.2	1.1	-	-	-	0.5	4.8	0.5	0.5	2.1	2.6	46.6	41.8
18歳未満	全体	472	10.0	4.9	0.8	0.6	1.5	0.8	20.1	1.5	1.7	45.3	4.2	35.6	4.4
	身体	134	10.4	9.0	0.7	-	-	-	17.9	1.5	0.7	33.6	5.2	41.0	6.7
	療育	355	10.7	3.7	0.8	0.8	2.0	0.8	22.8	1.1	2.0	50.7	2.5	33.5	3.4
	精神	38	2.6	2.6	-	-	-	-	13.2	5.3	-	28.9	10.5	47.4	2.6

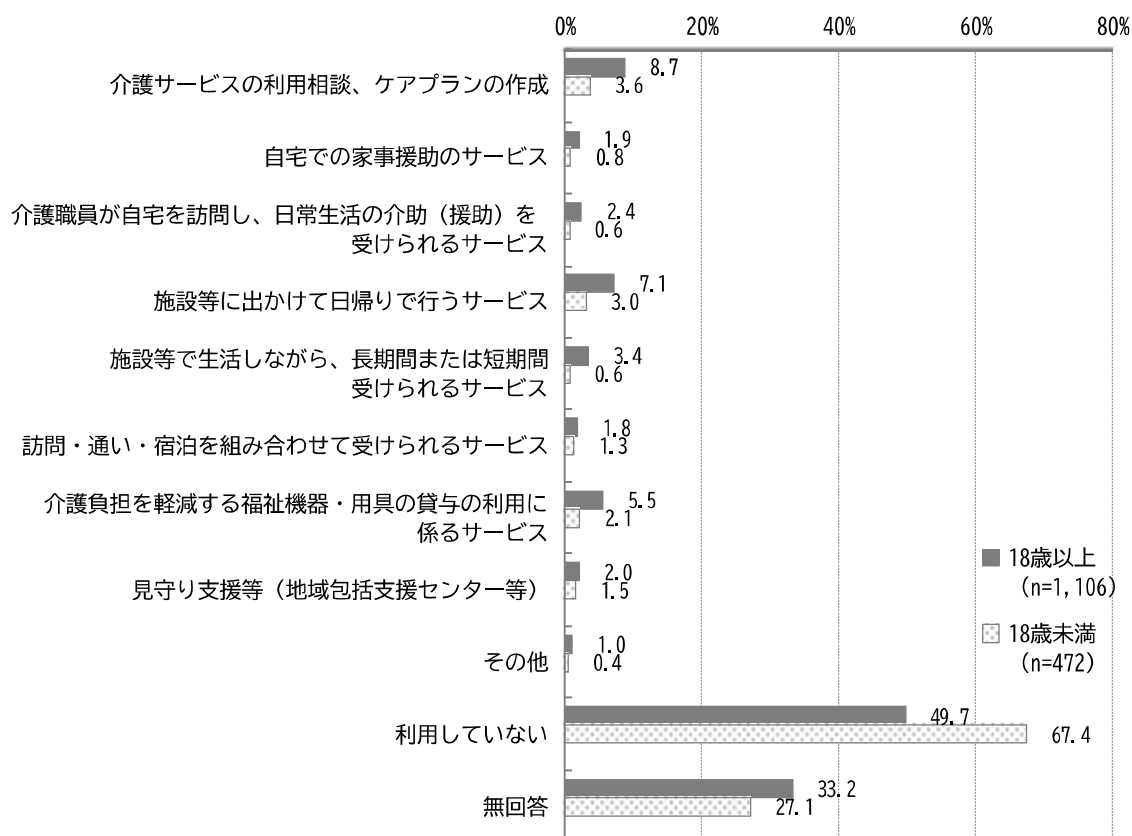
〔高齢者の介助（援助）に関する支援〕

18歳以上

「介護サービスの利用相談、ケアプランの作成」が8.7%と最も多く、「施設等に出かけて日帰りで行うサービス」、「介護負担を軽減する福祉機器・用具の貸与の利用に係るサービス」、「施設等で生活しながら、長期間または短期間受けられるサービス」の順となっており、「利用していない」は49.7%となっています。

18歳未満

「介護サービスの利用相談、ケアプランの作成」が3.6%と最も多く、次いで「施設等に出かけて日帰りで行うサービス」、「介護負担を軽減する福祉機器・用具の貸与の利用に係るサービス」、「見守り支援等（地域包括支援センター等）」の順となっており、「利用していない」は67.4%となっています。



【手帳種別】

18歳以上

利用しているサービスを手帳の種別にみると、いずれも「介護サービスの利用相談、ケアプランの作成」が多くなっています。

18歳未満

利用しているサービスを手帳の種別にみると、身体障害者手帳と療育手帳は「介護サービスの利用相談、ケアプランの作成」、精神障害者保健福祉手帳は「介護負担を軽減する福祉機器・用具の貸与の利用に係るサービス」と「見守り支援等（地域包括支援センター等）」が多くなっています。

(単位：%)

		回答者数(件)	介護サービスの利用相談、ケアプランの作成	自宅での家事援助のサービス	介護職員が自宅を訪問し、日常生活の介助(援助)を受けられるサービス	施設等に出かけて日帰りで行うサービス	施設等では生活しながら、長期間または短期間受けられるサービス	訪問・通い・宿泊を組み合わせて受けられるサービス	介護負担を軽減する福祉機器・用具の貸与の利用に係るサービス	見守り支援等(地域包括支援センター等)	その他	利用していない	無回答
18歳以上	全体	1106	8.7	1.9	2.4	7.1	3.4	1.8	5.5	2.0	1.0	49.7	33.2
	身体	754	9.9	2.0	2.8	8.0	4.1	2.5	6.8	2.1	1.5	49.6	30.2
	療育	211	6.6	0.9	1.4	5.7	3.3	1.4	5.2	1.4	-	54.0	34.1
	精神	189	2.6	1.1	1.6	1.6	2.1	1.6	0.5	1.6	0.5	49.7	42.3
18歳未満	全体	472	3.6	0.8	0.6	3.0	0.6	1.3	2.1	1.5	0.4	67.4	27.1
	身体	134	1.5	0.7	-	0.7	-	-	-	0.7	-	60.4	37.3
	療育	355	4.2	0.8	0.8	3.7	0.8	1.4	2.5	1.4	0.6	68.7	25.1
	精神	38	-	-	-	-	-	-	2.6	2.6	-	76.3	18.4

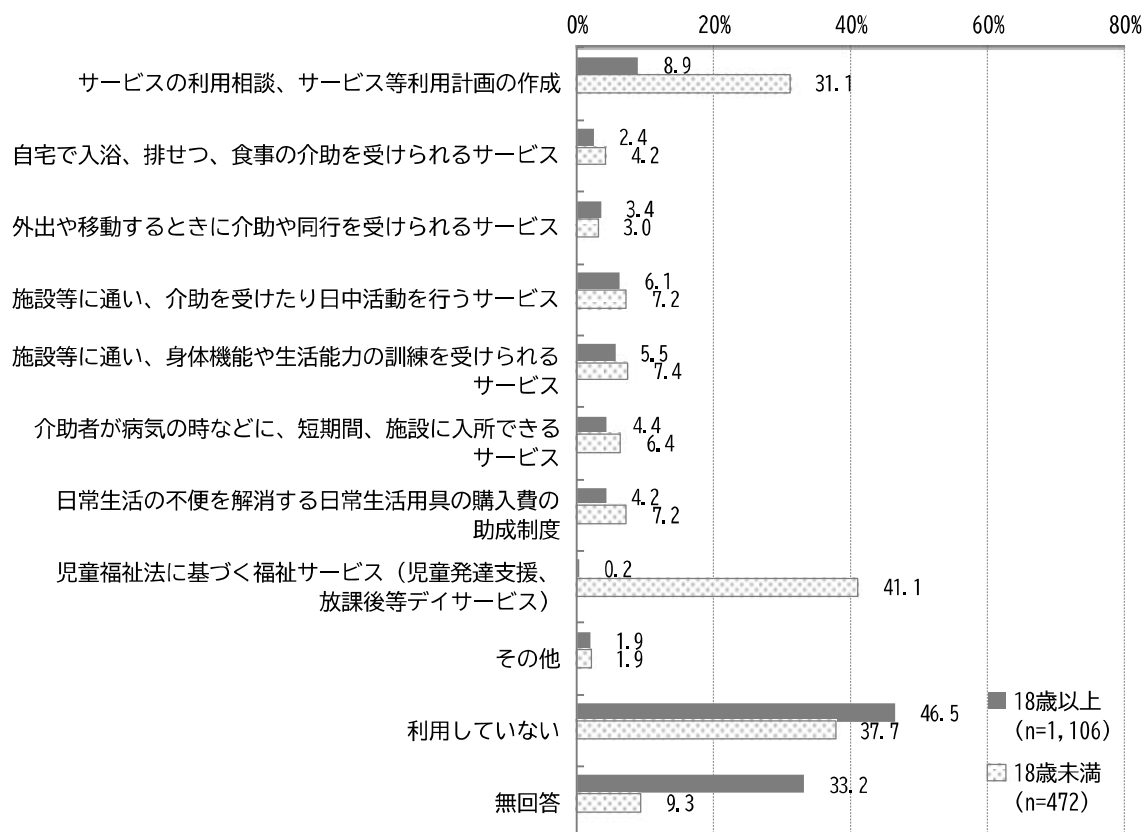
〔障がいのある人の介助に関する支援〕

18歳以上

「サービスの利用相談、サービス等利用計画の作成」が8.9%と最も多く、次いで「施設等に通い、介助を受けたり日中活動を行うサービス」、「施設等に通い、身体機能や生活能力の訓練を受けられる」、「介助者が病気の時などに、短期間、施設に入所できるサービス」の順となっており、「利用していない」は46.5%となっています。

18歳未満

「児童福祉法に基づく福祉サービス（児童発達支援、放課後等デイサービス）」が41.1%と最も多く、次いで「サービスの利用相談、サービス等利用計画の作成」、「施設等に通い、身体機能や生活能力の訓練を受けられるサービス」の順となっており、「利用していない」は37.7%となっています。



【手帳種別】

18歳以上

利用しているサービスを手帳の種別にみると、いずれも「サービスの利用相談、サービス等利用計画の作成」が多くなっています。

18歳未満

利用しているサービスを手帳の種別にみると、いずれも「児童福祉法に基づく福祉サービス（児童発達支援、放課後等デイサービス）」が多くなっています。

(単位：%)

		回答者数(件)	サービスの利用相談、サービス等利用計画の作成	自宅で入浴、排せつ、食事の介助を受けられるサービス	外出や移動するときに介助や同行を受けられるサービス	施設等に通い、介助を受けたり日中活動を行うサービス	施設等に通い、身体機能や生活能力の訓練を受けられるサービス	短期間、施設に入所できるサービス	成制度	日常生活の不便を解消する日常生活用具の購入費の助成	児童福祉法に基づく福祉サービス(児童発達支援、放課後等デイサービス)	その他	利用していない	無回答
18歳以上	全体	1106	8.9	2.4	3.4	6.1	5.5	4.4	4.2	0.2	1.9	46.5	33.2	
	身体	754	7.4	2.9	3.6	5.8	6.5	4.8	5.6	0.1	1.6	47.6	32.2	
	療育	211	19.9	4.7	8.1	15.6	7.1	9.0	5.7	-	2.8	40.3	25.6	
	精神	189	7.9	1.1	2.1	5.3	4.2	2.1	3.2	0.5	2.6	47.1	34.9	
18歳未満	全体	472	31.1	4.2	3.0	7.2	7.4	6.4	7.2	41.1	1.9	37.7	9.3	
	身体	134	35.8	12.7	5.2	12.7	15.7	14.2	20.9	41.0	-	35.8	10.4	
	療育	355	33.0	3.7	3.1	7.0	7.6	5.4	6.8	44.5	2.0	34.6	8.2	
	精神	38	13.2	-	2.6	-	-	-	-	26.3	7.9	55.3	7.9	

介助（援助）をしている方にお聞きします。どのような負担を感じていますか。また、どのような支援があったらよいと思いますか。（自由記載） 【18歳以上 問15/18歳未満 問14】

18歳以上

合計で208件の意見があり、移動支援、経済的支援、時間の不足、介助できないときの支援、介助者への支援に関する意見が多く挙げられました。

項目	件数	意見の概要	
移動支援について	36	<ul style="list-style-type: none"> ○通院・施設への送迎負担（家族による送迎の身体的・時間的負担が大きい、ガソリン代等の経済的負担が重い、高齢化による運転継続への不安） ○交通費の経済的負担（タクシー利用の費用負担が大きい、タクシーチケットの支給量が不十分、介助者の交通費負担） 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通機関の課題（バスの本数が少ない、利用しづらい地域がある、車椅子対応の交通手段が限られている） ○必要な支援（送迎サービスの充実、タクシー料金の助成拡充、コミュニティバスの整備、障害者・介助者双方の移動支援の拡充）
経済的支援について	23	<ul style="list-style-type: none"> ○経済的な課題（医療費・介護費用の自己負担が大きい、障害年金が少額で介助者の収入も限られ生活が困窮、同居家族の収入合算で補助が受けられず、将来の経済的不安が大きい） 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な支援（医療費・介護用品等への助成拡大、介護者への経済的支援の充実、親なき後の生活を支える継続的な経済的支援）
時間の不足について	16	<ul style="list-style-type: none"> ○介助者が抱える問題（自由時間が取れず、睡眠不足や心身の負担が大きい、仕事との両立が困難で経済的負担を感じる、常時の介助が必要で気が抜けない） 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な支援（医療的ケアに対応できる施設の増設、経済的支援の拡充、介助者の一時的休息を可能にする支援サービスの充実）
介助できないときの支援について	15	<ul style="list-style-type: none"> ○介助者が介助困難な場合の不安（介助者の病気や緊急時のサービス利用、一時的な預かり先の確保） ○緊急時の支援体制への要望（急病や事故時、休日、深夜、災害時対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な支援（見守りシステムの構築、介助者が高齢になった時の入所先の斡旋、情報提供の充実）
介助者への支援について	15	<ul style="list-style-type: none"> ○介助者の負担（心身の疲労が大きく、自由な時間が取れない、老々介護の問題、ダブルケア（複数人の介護）による負担増） ○支援体制の課題（家族以外に気軽に任せられる制度や施設が不足、手続きや申請の煩雑さが負担、預け先の確保が困難） 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な支援（切れ目のない支援、介助者が働きやすい環境整備（在宅勤務、障がい者同伴可能な職場など）、介助者の休養確保のための支援の充実）
生活支援について	13	<ul style="list-style-type: none"> ○日常生活支援のニーズ（入浴、家事、買い物、ごみ出し、送迎の支援） ○経済的な課題（サービス料金の負担、家族の経済的負担） ○介助者の高齢化による将来不安 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な支援（家族同居でも利用できる家事援助サービス、訪問介護・看護サービスの充実）
精神的負担について	12	<ul style="list-style-type: none"> ○精神的負担（本人の感情の起伏や行動への対応、常時の見守りや介助による緊張、孤立感、将来への不安） ○サービス利用の課題（本人がサービス利用を拒否、デイサービスやショートステイの利用制限） 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な支援（介助者のための相談の場、一時的な負担軽減の支援、緊急時の受け入れ施設、正確で分かりやすい情報提供）

項目	件数	意見の概要
外出支援について	10	○外出支援（散歩、余暇活動、病院受診の付き添いなど） ○同行援護の充実 ○余暇活動の充実（仲間と一緒に外出できる支援など）
身体的負担について	8	○介助の身体的負担が大きく、体力的に継続が困難 ○介助者の体調不安が増大し、今後は心配
サービス利用のしやすさについて	7	○予約が必要で急な利用が難しく、空きを待つ必要がある ○必要な時に気軽にサービスを利用できる体制が必要
相談支援について	5	○どこに相談すればよいか分からない ○仕事で相談に行く時間がとれないため、困ったときにすぐ電話相談できるとよい
将来不安について	5	○高齢になると、自立してできていたことへの支援が必要となる ○親がなくなったあとの本人の生活が心配
医療について	4	○医療的ケア者の緊急時の医療への円滑な関係
生活上の不安について	4	○就職先が限られるため、常に生活不安を感じる ○2人とも高齢で障がいがある
外出について	3	○障がいがあっても参加できるイベントの案内が少ない ○土日に障がい者が遊べる場所がない ○体を動かす機会がないので、体操やウォーキング、水泳などの教室を作って欲しい
サービスについて	3	○仕事や子育てで施設からの電話に出られない場合があるため、連絡用のアプリがあるとよい
その他	29	

18歳未満

合計で268件の意見があり、経済的支援、移動支援、介助負担、仕事との両立、教育・療育に関する意見が多く挙げられました。

項目	件数	意見の概要	
経済的支援について	23	<ul style="list-style-type: none"> ○経済的負担（医療費、通院費、補装具購入費、放課後等デイサービス利用料など） ○福祉車両購入は本人運転しか補助がない 	<ul style="list-style-type: none"> ○所得制限の影響（所得制限により手当や補助が受けられない一方、サービス利用料が上がり、利用控えが発生）
移動支援について	22	<ul style="list-style-type: none"> ○送迎の負担（学校、放課後等デイサービス、病院への送迎が必要、スクールバスが利用できない） ○家族の負担（遠距離による時間的・経済的負担、介助者一人では送迎が困難、親の就労との両立が困難） 	<ul style="list-style-type: none"> ○送迎サービスの不足（スクールバスがない）
介助負担について	18	<ul style="list-style-type: none"> ○身体的・精神的負担（食事準備、排泄介助、入浴介助等の日常的ケア、介助者の睡眠不足や疲労の蓄積、健康管理が困難） ○生活上の制約（自由な時間が取れない、外出が制限、就労が困難で経済的負担） 	<ul style="list-style-type: none"> ○支援体制の不足（緊急時の受入先不足、相談窓口時間の限定） ○必要な支援（24時間対応の相談窓口、介助者のメンタルケア、往診・オンライン診療など）
仕事との両立について	18	<ul style="list-style-type: none"> ○平日日中の通院・サービスの面談の負担感 ○放課後等デイサービスの空き不足や利用時間制限により就労時間が制約され、生活が苦しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの体調不良や通院による欠勤発生 ○送迎や通院の都合で就職が見つからない ○障がい児を持つ親への就労支援が必要
教育・療育について	15	<ul style="list-style-type: none"> ○支援級の子どもへの対応が不十分で、問題行動のある児童への個別対応が不足 ○教師の発達障がいへの理解が不十分で、適切な支援が受けられない ○学習支援の空きが少なく、家庭学習の負担が大きい 	<ul style="list-style-type: none"> ○発達支援センターを各地に設置、専門の先生による学習支援の実施を希望 ○子どもの特性に合わせた進学先の選択肢拡大（支援学校、グレーゾーン向けの高校など） ○支援級の子どもの習い事や学習支援などの放課後支援の充実
サービス利用のしやすさについて	13	<ul style="list-style-type: none"> ○ショートステイの利用に関する問題（施設数が少なく予約が取りにくい、利用までの手続きが煩雑、緊急時の受け入れが困難） ○介助者の負担（介助者の体調不良時の対応が困難、365日の介助の疲労、仕事との両立が困難） 	<ul style="list-style-type: none"> ○改善の要望（急な利用に対応できる柔軟なサービス体制、医療的ケアに対応できる施設の増設、休日の預かりサービス、通院や外出時の付き添いサービスの充実）
時間の不足について	12	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の時間が確保できない ○心身の不調があっても介助を継続 ○自身の通院や治療が後回しになる 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間的・心理的に息抜きできない ○正職員として働くことが困難
サービスの供給量について	12	<ul style="list-style-type: none"> ○医療ケア児や障がい児の施設・サービスが不足（送迎付き施設、放課後等デイサービス、ショートステイ・レスパイト施設、病児・病後児保育施設） 	<ul style="list-style-type: none"> ○支援体制の不足（専門スタッフ、小児向けヘルパー、中学生の療育サービスの不足） ○サービス利用の困難さ（施設の定員超過による長期待機、利用時間の制限、高額な利用料金と所得制限の問題）

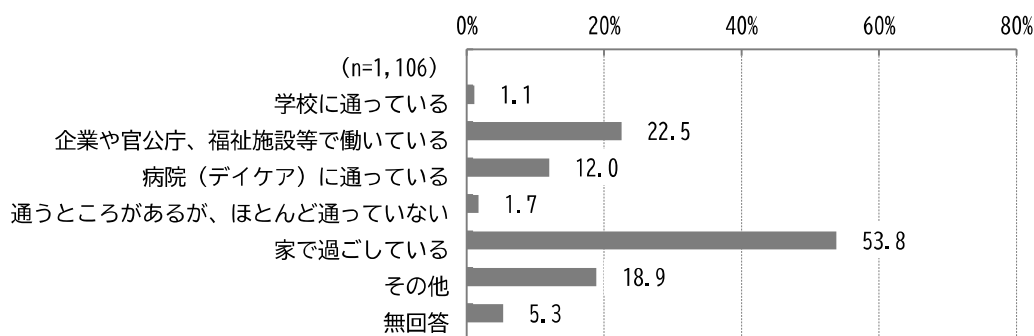
項目	件数	意見の概要	
身体的負担について	12	○子どもの成長で移乗や入浴介助の負担が増大し、一人での介助が困難に ○介助による体力的・精神的疲労	○移乗のリフトやパワースーツなどの購入補助を希望 ○日中利用できるデイサービスを希望
サービスの利用時間について	11	○利用時間の課題(放課後等デイサービスの利用時間が短く、フルタイム勤務が困難、長期休暇時の利用時間が短く仕事に支障)	○必要な支援(医療的ケア児の日中一時支援やショートステイの充実、訪問看護などの支援時間の延長や専門員の増員)
将来不安について	11	○親なき後の生活保障(自立が難しい子どもの将来の生活保障) ○介護者の高齢化による体力の衰え、病気等による生計の不安	○支援体制の課題(将来の生活のロードマップの必要性、同じ障がいを持つ家族との交流や活動の情報発信)
精神的負担について	10	○介助による緊張感の持続と精神的不安 ○介助による仕事の制限と経済的不安	○障がい児への社会の理解不足 ○他の子の世話との両立の困難
相談支援について	10	○緊急時や24時間対応の電話相談 ○制度・相談窓口に関する情報提供	○適切な相談先の案内 ○気軽に相談できる場
休日等の介助について	10	○休日の預け先が不足し、保護者の休息や仕事に支障 ○夜間の保育サービスを希望	○中学・高校生になると放課後等デイサービスがほぼ使えないため、長期休暇時が心配 ○きょうだい児の活動との両立が困難
介助できないときの支援について	7	○介助者が体調不良時のサポートが不足 ○介助者が1人で体調不良時の代替手段がない	○緊急避難的に利用できるショートステイなどを希望
福祉施設について	7	○放課後等デイサービスやショートステイなどの施設数が不十分 ○1施設での切れ目のない支援を希望	○医療機関での受診時に配慮された専用スペースを希望
サービスの利用希望について	7	○放課後等デイサービス ○放課後等デイサービスでの入浴支援 ○医療的ケア児の通学支援	○就労時間後にみてもらえるサービス ○自宅での見守りのサービス ○短期入所(ショートステイ)
その他	50		

3 暮らしについて

あなたは、日中どのように過ごしていますか（○は2つまで）

【18歳以上 問16】

「家で過ごしている」が53.8%と最も多く、次いで「企業や官公庁、福祉施設等で働いている」、「病院（デイケア）に通っている」の順となっています。「その他」には、施設入所・通所、仕事、入院中などの回答が含まれています。



【手帳種別】

手帳の種別にみると、障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳は「家で過ごしている」、療育手帳は「企業や官公庁、福祉施設等で働いている」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数 (件)	学校に通っている	企業や官公庁、 福祉施設等で 働いている	病院（デイケア） に通っている	通うところがある が、ほとんど通っ ていない	家で過ごしている	その他	無回答
18歳 以上	全体	1106	1.1	22.5	12.0	1.7	53.8	18.9	5.3
	身体	754	0.4	15.4	14.9	1.3	60.9	19.2	4.4
	療育	211	1.9	42.7	9.0	2.4	26.5	24.6	2.8
	精神	189	3.2	28.6	11.1	3.7	52.4	16.4	4.2

あなたは、日常生活で何に困っていますか。(〇は4つまで)

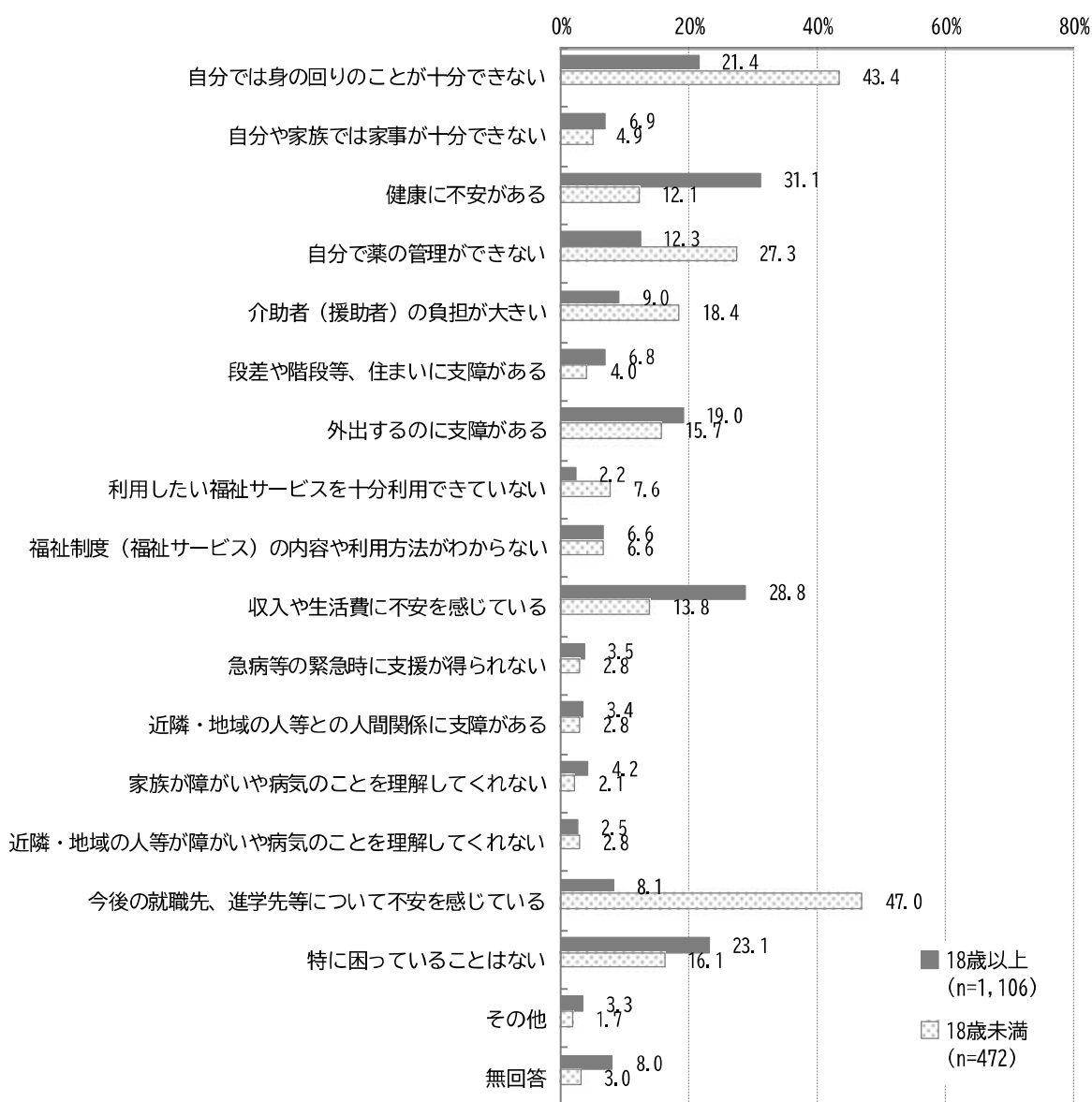
【18歳以上 問17/18歳未満 問15】

18歳以上

「健康に不安がある」が31.1%と最も多く、次いで「収入や生活費に不安を感じている」、「自分では身の回りのことが十分できない」、「外出するのに支障がある」の順となっています。

18歳未満

「今後の就職先、進学先等について不安を感じている」が47.0%と最も多く、次いで「自分では身の回りのことが十分できない」、「自分で薬の管理ができない」、「介助者（援助者）の負担が大きい」の順となっています。



【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別にみると、身体障害者手帳は「健康に不安がある」、療育手帳は「自分では身の回りのことが十分できない」、精神障害者保健福祉手帳は「収入や生活費に不安を感じている」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別にみると、身体障害者手帳は「自分では身の回りのことが十分できない」、療育手帳と精神障害者保健福祉手帳は「今後の就職先、進学先等について不安を感じている」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数 (件)	自分では身の回りのことが十分 できない	自分や家族では家事が十分でき ない	健康に不安がある	自分で薬の管理ができない	介助者(援助者)の負担が大き い	段差や階段等、住まいに支障が ある	外出するのに支障がある	利用できない	利用したい福祉サービスを十分 利用できていない	福祉制度(福祉サービス)の内 容や利用方法がわからない	収入や生活費に不安を感じてい る	急病等の緊急時に支援が得られ ない	近隣・地域の人等との人間関係 に支障がある	家族が障がいや病気のことを理 解してくれない	近隣・地域の人等が障がいや病 気のことを理解してくれない	今後の就職先、進学先等につい て不安を感じている	特に困っていることはない	その他	無回答
18歳 以上	全体	1106	21.4	6.9	31.1	12.3	9.0	6.8	19.0	2.2	6.6	28.8	3.5	3.4	4.2	2.5	8.1	23.1	3.3	8.0	
	身体	754	20.4	5.8	32.8	11.1	9.2	8.9	20.7	1.6	5.7	24.8	3.3	2.7	2.9	2.1	3.6	25.9	2.9	7.7	
	療育	211	30.8	5.2	23.2	24.2	12.3	4.7	13.3	5.2	8.5	23.7	4.3	3.8	4.3	3.8	10.4	22.7	1.9	8.1	
	精神	189	20.1	12.2	36.0	13.8	7.4	5.3	19.6	3.2	11.6	52.9	4.8	7.9	13.2	5.8	24.3	9.5	4.8	3.7	
18歳 未満	全体	472	43.4	4.9	12.1	27.3	18.4	4.0	15.7	7.6	6.6	13.8	2.8	2.8	2.1	2.8	47.0	16.1	1.7	3.0	
	身体	134	57.5	6.0	27.6	31.3	32.8	12.7	20.1	11.2	8.2	11.2	3.0	0.7	1.5	1.5	41.0	7.5	2.2	3.0	
	療育	355	45.6	5.1	9.0	27.6	18.9	3.1	15.8	7.9	6.5	15.2	3.4	3.4	2.0	2.3	47.9	16.1	0.8	3.1	
	精神	38	26.3	10.5	7.9	28.9	10.5	0.0	15.8	7.9	10.5	23.7	0.0	2.6	7.9	5.3	57.9	7.9	5.3	0.0	

あなたが困った時に相談する相手はどなた（どこ）ですか。（〇は3つまで）

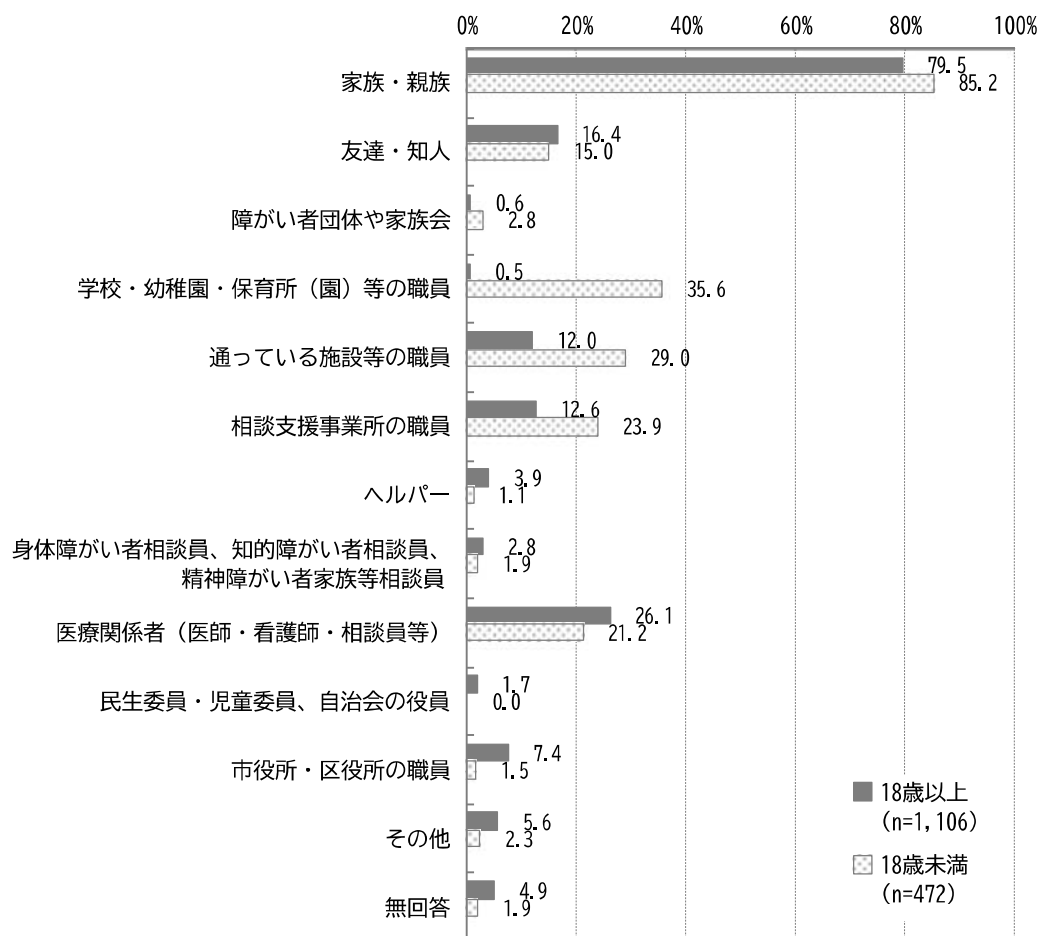
【18歳以上 問18／18歳未満 問16】

18歳以上

「家族・親族」が79.5%と最も多く、次いで「医療関係者（医師・看護師・相談員等）」、「友達・知人」、「相談支援事業所の職員」の順となっています。

18歳未満

「家族・親族」が85.2%と最も多く、次いで「学校・幼稚園・保育所（園）等の職員」、「通っている施設等の職員」、「相談支援事業所の職員」の順となっています。



【手帳種別】

18歳以上

手帳の種別にみると、いずれも「家族・親族」が最も多くなっています。

18歳未満

手帳の種別にみると、いずれも「家族・親族」が最も多くなっています。

(単位：%)

		回答者数 (件)	家族・親族	友達・知人	障がい者団体や家族会	職員 学校・幼稚園・保育所(園)等の	通っている施設等の職員	相談支援事業所の職員	ヘルパー	身体障がい者相談員、知的障がい者 相談員、精神障がい者家族等相談員	身体障がい者相談員、知的障がい者 等)	医療関係者(医師・看護師・相談員 等)	民生委員・児童委員、自治会の役員	市役所・区役所の職員	その他	無回答
18歳 以上	全体	1106	79.5	16.4	0.6	0.5	12.0	12.6	3.9	2.8	26.1	1.7	7.4	5.6	4.9	
	身体	754	82.4	16.0	0.5	0.3	9.4	8.6	4.4	2.1	26.3	2.1	7.8	4.8	3.7	
	療育	211	79.6	10.0	1.4	0.9	29.4	28.4	1.4	6.6	16.1	0.9	6.2	9.0	3.3	
	精神	189	70.4	23.3	-	0.5	12.7	18.5	3.2	4.2	41.3	1.6	8.5	7.4	3.2	
18歳 未満	全体	472	85.2	15.0	2.8	35.6	29.0	23.9	1.1	1.9	21.2	-	1.5	2.3	1.9	
	身体	134	81.3	9.7	5.2	26.9	24.6	28.4	3.0	2.2	30.6	-	1.5	3.7	1.5	
	療育	355	86.5	15.2	3.1	40.6	32.1	25.1	0.6	1.4	19.4	-	1.7	0.8	1.7	
	精神	38	86.8	13.2	-	18.4	18.4	7.9	2.6	5.3	34.2	-	-	7.9	-	

あなたはどのような相談体制の窓口があれば便利だと思いますか。(〇は2つまで)

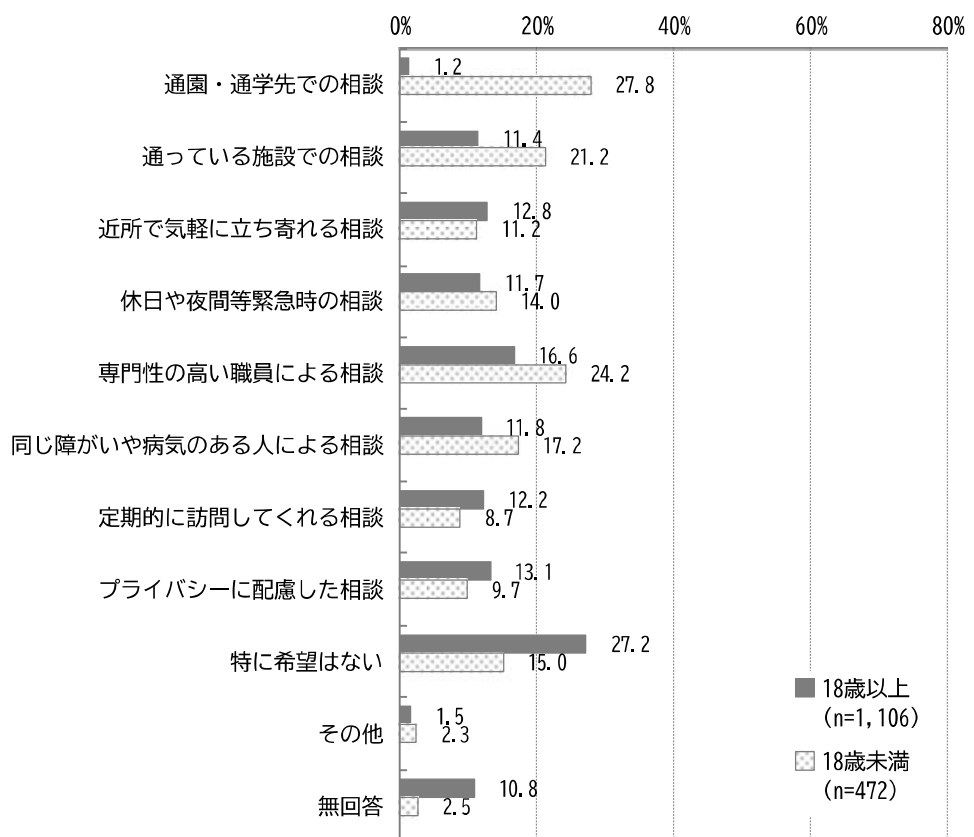
【18歳以上 問19/18歳未満 問17】

18歳以上

「専門性の高い職員による相談」が16.6%と最も多く、次いで「プライバシーに配慮した相談」、「近所で気軽に立ち寄れる相談」、「定期的に訪問してくれる相談」の順となっています。

18歳未満

「通園・通学先での相談」が27.8%と最も多く、次いで「専門性の高い職員による相談」、「通っている施設での相談」、「同じ障がいや病気のある人による相談」の順となっています。



【手帳種別】

18歳以上

便利だと思う窓口を手帳の種別にみると、身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳は「専門性の高い職員による相談」、療育手帳は「通っている施設での相談」が多くなっています。

18歳未満

便利だと思う窓口を手帳の種別にみると、身体障害者手帳は「通園・通学先での相談」と「専門性の高い職員による相談」、療育手帳は「通園・通学先での相談」、精神障害者保健福祉手帳は「通っている施設での相談」が多くなっています。

(単位：%)

		回答者数 (件)	通園・通学先での 相談	通っている施設で の相談	近所で気軽に 立ち寄れる相談	休日や夜間等緊急 時の相談	専門性の高い職員 による相談	相談 の同じ障がいや病 気のある人による	定期的な訪問して くれる相談	配慮した相談 ブライパシーに	特に希望はない	その他	無回答
18歳 以上	全体	1106	1.2	11.4	12.8	11.7	16.6	11.8	12.2	13.1	27.2	1.5	10.8
	身体	754	0.7	9.8	11.5	12.1	14.7	11.0	12.1	11.7	29.0	1.1	11.8
	療育	211	1.9	21.8	12.3	10.0	20.9	13.3	17.5	11.4	20.4	1.4	9.0
	精神	189	2.6	10.6	19.0	12.7	23.8	11.6	11.6	22.8	20.6	2.6	5.3
18歳 未満	全体	472	27.8	21.2	11.2	14.0	24.2	17.2	8.7	9.7	15.0	2.3	2.5
	身体	134	28.4	16.4	9.0	20.9	28.4	26.1	11.2	6.0	10.4	1.5	1.5
	療育	355	28.7	23.9	10.1	12.7	25.6	16.6	8.5	10.7	13.2	2.3	2.5
	精神	38	18.4	21.1	10.5	7.9	15.8	13.2	13.2	2.6	26.3	5.3	-